

高等学校地理歴史科、公民科に置かれる各科目のイメージ（案）

平成28年6月13日
教育課程部会
社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ
参考資料10

地理歴史科

公民科

現代社会の諸課題の解決を視野に入れて考察(各科目について主として「空間」・「時間」及び「現代社会の構造等」に着目)

新
必
履
修
科
目

「地理総合(仮称)」

持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する

「歴史総合(仮称)」

歴史の推移や変化を踏まえ課題の解決を視野に入れて、世界とそこにおける日本について、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する

「公共(仮称)」

現代社会の諸課題の解決に向けて、自立するとともに他者と協働して、公共的な空間を作る主体として選択・判断の基準を身に付け、考察する

新
選
択
科
目

「地理探究(仮称)」

世界の諸事象を系統的に、諸地域を地誌的に考察し、現代日本に求められる国土像の在り方について探究する

「日本史探究(仮称)」

我が国の歴史の展開について、世界の歴史や歴史を構成する様々な要素に着目して、総合的に広く深く探究する

「世界史探究(仮称)」

世界の歴史の大きな枠組みと展開について、地理的条件や日本の歴史と関連付けて、広く深く探究する

「倫理(仮称)」

他者と共に生きる主体を育むために、現代に生きる人間の倫理的課題について探究し、自立して思索する

「政治・経済(仮称)」

国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たす主体を育むために、現実社会の諸課題を広く深く探究する

必履修科目で育んだ理解や技能を用いて、より専門的な視野から広く深く探究

※ 地理歴史科については、新必履修科目の名称としては、両者を習得することによって当該教科の高等学校における目標を達成するために必要とされる資質・能力を育む科目として両科目に「総合」を付すとともに、生徒の興味・関心や進路等に応じて「総合科目」を基盤に、より専門的な視野から考察を深め、探究を行う科目について「探究」を付すこととしてはどうか。

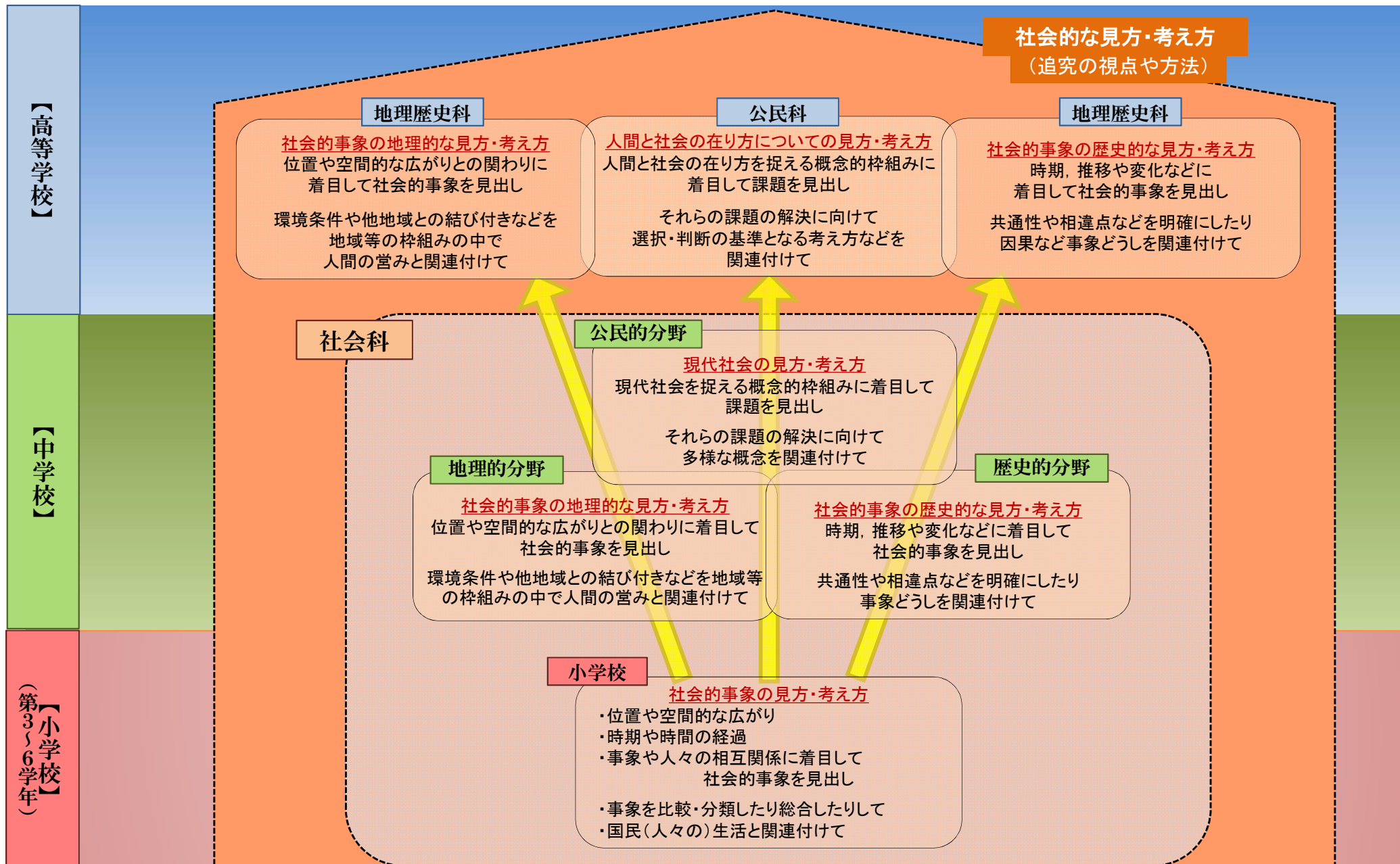
※ 公民科については、自立した主体として他者と協働して社会に参画し、公共的な空間を作る主体を育むことを目指す科目の内容を端的かつ適切に示すことが可能なものとして「公共(仮称)」とするとともに、選択科目については地理歴史科と同様に探究を行う科目であるが、学習対象である「倫理」については「探究」がその本質的な内容の一部であることから、「倫理探究」といった科目名はなじまず、また、「政治・経済」のみに「探究」を付すことは、同一教科に置かれる同一の性格を持つ科目の名称について混乱させるおそれもあることから、「倫理(仮称)」、「政治・経済(仮称)」とすることとしてはどうか。

社会、地理歴史、公民における「社会的な見方・考え方」のイメージ（案）

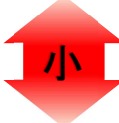


※「社会的な見方・考え方」は、小・中・高等学校の各「見方・考え方」を総称する呼称である。

- 社会的な見方・考え方は、深い学びを実現するための思考力や判断力の育成や獲得する知識の構造化に不可欠であること、主体的に学習に取り組む態度や学習を通して涵養される自覚や愛情などにも作用することなどを踏まえると、資質・能力全体の中核である。
- 社会的な見方・考え方は、課題解決的な学習において、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想したりする際の「視点や方法」であり、小、中、高等学校と校種が上がるにつれて視点の質やそれを生かした問いの質が高まることで成長するものである。




平成28年6月13日 教育課程部会
社会・地理歴史・公民ワーキンググループ
参考資料11






① 社会的な見方・考え方をを用いて，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する力

・社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連について，概念等を活用して多面的・多角的に考察できる	  
・社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できる	
・社会的事象の意味，特色や相互の関連を多角的に考察できる	




② 社会的な見方・考え方をを用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想する力

・社会に見られる複雑な課題を把握して，身に付けた判断基準を根拠に解決に向けて構想できる	  
・社会に見られる課題を把握して，解決に向けて学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて選択・判断できる	
・社会に見られる課題を把握して，解決に向けて学習したことを基にして社会への関わり方を選択・判断できる	



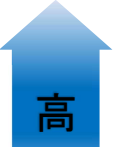
③ 考察したこと，構想したことを説明する力

・適切な資料・内容や表現方法を選び，社会的事象等についての自分の考えを効果的に説明したり論述したりできる	  
・主旨が明確になるように内容構成を考え，社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる	
・根拠や理由を明確にして，社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる	

④ 考察したこと，構想したことを基に議論する力

・合意形成や社会参画を視野に入れながら，社会的事象等について構想したことを，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論できる	  
・他者の主張を踏まえたり取り入れたりして，社会的事象についての自分の考えを再構成しながら議論できる	
・他者の主張につなげたり，立場や根拠を明確にしたりして，社会的事象についての自分の考えを主張できる	

*参考 学習の見通しを持ち追究の結果を評価する力

・追究の過程や結果を評価し，不十分な点を修正・改善することができる	  
・追究の結果を振り返り，学んだことの成果等を自覚できる	
・学習問題（課題）を把握し，追究の見通しを持つことができる	

社会的事象等について調べまとめる技能（案）

平成28年6月13日
教育課程部会 社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ 参考資料13-2

技能の例(小・中・高等学校)

情報を収集する技能

事象段等に考えうる課題情報を決めるに必要とする社会的

- 【1】調査活動を通して
- 野外調査活動
 - ・調査の観点(数、量、配置等)に基づいて、現地の様子や実物を観察し情報を集める
 - ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し、情報を集める
 - ・地図を現地に持って行き、現地との対応関係を観察し、情報を集める
 - 社会調査活動
 - ・行政機関や事業者、地域住民等を対象に聞き取り調査、アンケート調査などを行い、情報を集める
- 【2】諸資料を通して
- 資料の種類
 - ・地図(様々な種類の地図)や地球儀から、位置関係や形状、分布、面積、記載内容などの情報を集める
 - ・年表から、出来事やその時期、推移などの情報を集める
 - ・統計(表やグラフ)から傾向や変化などの情報を集める
 - ・新聞、図書や文書、音声、画像(動画、静止画)、現物資料などから様々な情報を集める

- その他
 - ・模擬体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める
 - ・博物館や郷土資料館等の施設、学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して映像、読み物や紀行文、旅行経験者の体験記など様々な情報を集める
 - ・コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、目的に応じて様々な情報を集める
- 【3】情報手段の特性や情報の正しさに留意して
 - ・資料の表題、出典、年代、作成者などを確認して情報を集める
 - ・情報手段の特性に留意して情報を集める
 - ・情報発信者の意図、発信過程などに留意して情報を集める

情報を読み取る技能

技方収集・集めた情報に沿って社会的な見

- 【1】情報全体の傾向性を踏まえて
- ・位置や分布、広がり、形状などの全体的な傾向を読み取る
 - ・量やその変化、区分や移動などの全体的な傾向を読み取る
 - ・博物館や郷土資料館等の展示品目の配列から、展示テーマの趣旨を読み取る
- 【2】必要な情報を選んで
- 事実を正確に読み取る
 - ・形状、色、数、種類、大きさ、名称などに関する情報を読み取る
 - ・方位、記号、高さ、区分などを読み取る(地図)
 - ・年号や時期、前後関係などを読み取る(年表)
 - 有用な情報を選んで読み取る
 - ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る
 - ・諸情報の中から、目的に応じた情報を選別して読み取る

- 【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして
- ・異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり、結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
 - ・同一の事象に関する異種の資料(グラフと文章など)の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る
 - ・同種の資料における異なる表現(複数の地図、複数のグラフ、複数の新聞など)を見比べたり結び付けたりして読み取る
- 【4】資料の特性に留意して
- ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る
 - ・歴史資料の作成目的、作成時期、作成者を踏まえて読み取る
 - ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る

情報をまとめる技能

向読み取った情報課題解決に

- 【1】基礎資料として
- ・聞き取って自分のメモにまとめる
 - ・地図上にドットでまとめる
 - ・数値情報をグラフに転換する(気温図など)
- 【2】分類・整理して
- ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる
 - ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる
 - ・位置や方位、範囲などで整理して白地図上にまとめる
 - ・相互関係を整理して図(イメージマップやフローチャートなど)にまとめる
 - ・地理情報システム(GIS)などを用いて、デジタル化した情報を統合したり、編集したりしてまとめる

- 【3】情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して
- ・効果的な形式でまとめる
 - ・主題に沿ってまとめる
 - ・レイアウトを工夫してまとめる
 - ・数値情報を主題図に変換する(階級区分図など)

社会，地理歴史，公民における資質・能力の構造化のイメージ（案）

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成

社会，地理歴史，公民で獲得する 知識・技能	社会，地理歴史，公民で養う 思考力・判断力・表現力等	社会，地理歴史，公民で養われる 学びに向かう力・人間性
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な事象等に関する知識 ○ 社会的な事象等について調べまとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な見方・考え方をを用いて，社会的な事象等や社会に見られる課題について考察・構想する力 ○ 考察・構想したことを説明・議論する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習対象や課題解決への主体的・意欲的な態度 ○ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など

* 丸番号は便宜的に付けたもの

① 収集し，読み取った情報を組み合わせて
考察・構想し，説明・議論する

② 社会的な見方・考え方に沿って情報を
収集する，読み取る，まとめる

○ 時間（歴史的），空間（地理的），相互関係（事象，人，社会）等に着目して社会的な事象等を見出し，社会的な事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する力，社会に見られる課題の解決に向けて構想（選択・判断）する力
○ 考察したことや構想したことについて，説明したり議論したりする力

③ 意欲的に考察・構想し，説明・議論する

④ 社会に見られる課題を意欲的に解決しようとする
ことで「社会に参画しようとする態度」が養われる

○ 社会的な事象等について調べまとめる技能
（社会的な事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）

⑤ 理解した概念，理論を使って
考察・構想し，説明・議論する

⑥ 考察・構想することで理解できる
⑦ 見方・考え方をを用いて概念を形成する

⑧ 学んだことを社会生活に生かそうとする
ことで「社会に参画しようとする態度」が養われる

⑨ 主体的に調べ知識を獲得する

○ 社会や社会的な事象等に関する知識
・ 社会生活に関する理解
・ 我が国や世界の地理に関する理解
・ 我が国や世界の歴史に関する理解
・ 現代社会に関する理解
・ 人間としての在り方生き方に関する理解

⑩ 技能を生かして主体的に調べる

○ 学習対象（社会的な事象等）について主体的に調べ
分かうとして課題を意欲的に追究する態度
○ よい社会を考え，学んだことを生かそうとする態度
○ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される
自覚や愛情など

